



2024年6月6日

各位

会社名 堺化学工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 矢倉敏行  
(コード番号 4078 東証プライム)  
問合せ先 人事総務部長 弓岡晃一  
電話番号 072-223-4111

### ISS社レポートに対する当社の見解について

当社は、2024年6月26日開催予定の第129回定時株主総会（以下、「本定時株主総会」）の第2号議案「取締役8名選任の件」において、議決権行使助言会社 Institutional Shareholder Services, Inc.（以下、「ISS社」）が反対を推奨しているとの情報を入手いたしました。

本議案の内容は、本定時株主総会の株主総会参考書類に記載のとおりであります。本レポートに対する当社の考えにつきまして、下記のとおりご説明いたします。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、本内容をご確認いただき、当該議案に関しご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

#### 1. ISS社の判断理由

ISS社は、当社の過去5期平均および当年度(2023年度)の自己資本当期純利益率(以下、ROE)が5%を下回り、資本収益性が低いとの理由から、取締役候補 候補者番号1の矢倉敏行(代表取締役社長)に対し反対を推奨しています。

#### 2. 当社の見解

当社は2024年5月に新中期経営計画「**変革・BEYOND2030**」(2025年3月期～2027年3月期)を公表しました。本計画は2030年から更にその先の将来に向けた企業価値拡大のための「変革」のステージ(3年間)と位置づけております。本計画期間中に収益性、投資効率が高い事業へ設備投資や人的資源を集中的に投下し、事業ポートフォリオを入替え、高収益な企業へ変革するための構造改革を実施します。

「**変革・BEYOND2030**」にて重点的に取り組む項目は次の3つで、特に②の資本コストを上回るROE達成・PBR改善については、2027年3月期のROE目標8%達成に向け、資本効率を強く意識した取り組みを推進します。

##### 「**変革・BEYOND2030**」で重点的に取り組む項目

- ①高付加価値品シフトを企図した事業ポートフォリオ入替え
- ②資本コストを上回るROEの達成・PBR改善
- ③マテリアリティ推進による経営基盤の再構築・非財務面の取り組み加速

##### 「**変革・BEYOND2030**」の数値目標

	2024年3月期(実績)	2027年3月期
営業利益	29億円	90億円
ROE	-9%	8%



現社長の矢倉敏行は「覚悟をもって将来に向けた変革を完遂することのできる経営トップ」として、社外取締役全員が参加する指名報酬委員会が再任すべきと答申した候補者です。同氏の強い決意とリーダーシップをもって新中期経営計画「**変革・BEYOND2030**」を完遂することが、当社の中長期に亘る持続的な利益成長と企業価値の向上に繋がるものと考えております。

(ご参考情報)

・ 取締役会の構成等について

現在の取締役は8名（うち社外取締役3名）であります。第2号議案「取締役8名選任の件」が原案どおり承認可決されますと、取締役は8名（うち社外取締役4名）となります。社外取締役を1名増員し、コーポレート・ガバナンスの充実・強化を図り、中長期に亘る持続的な利益成長と企業価値の向上を実現してまいります。

・ 新中期経営計画「**変革・BEYOND2030**」

以下のウェブサイトよりご確認ください。

[https://www.sakai-chem.co.jp/wp/wp-content/themes/sccojp/pdf/mid\\_term\\_managementplan\\_2024\\_2026.pdf](https://www.sakai-chem.co.jp/wp/wp-content/themes/sccojp/pdf/mid_term_managementplan_2024_2026.pdf)

以 上